

平成30年度 第3回 海老名市総合教育会議 次第

日時：平成30年11月18日（日）9：30～

場所：杉久保小学校 体育館

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 教育大綱について

(2) 海老名市部活動方針の実施状況について

(3) 海老名市保護者負担経費の在り方についての方針

(4) 杉久保小児童からの学校生活に関する提案（4名）について

(5) その他

4 閉会

# 平成30年度 第3回海老名市総合教育会議

日 時:平成30年11月18日(日)9:30~  
場 所:海老名市立杉久保小学校体育館

## 1. 海老名市教育大綱について

### 1. 教育大綱

#### (1)教育大綱とは

市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的施策についての目標や施策の根本となる方針

#### (2)教育大綱の策定

教育大綱は、教育行政における地域住民の意向をより一層反映させるため、市長が策定するものです。

また、策定や変更にあたっては、市長と教育委員会との間で、十分な協議するものとされています。

# 1. 海老名市教育大綱について

## (1) 海老名市教育大綱

### ① 目標

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

### ② 取り組み



### ③ 教育施策の3つの柱

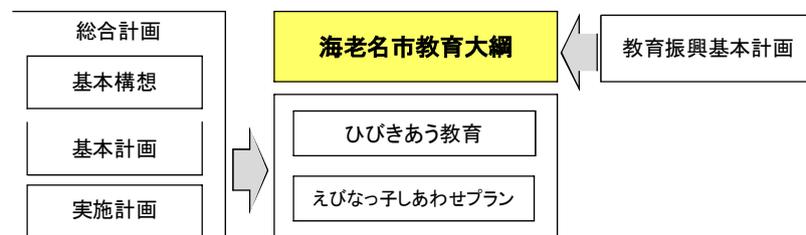
- ①「えびなっ子」しあわせプランの推進
- ②子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実
- ③安全安心な環境と新たな学校施設への取組

# 1. 海老名市教育大綱について

### ④ 計画期間

4年間(平成27年4月～平成31年3月)

### ⑤ 計画の位置づけ



## 海老名市教育大綱

### 「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

●子どもたちの「しあわせ」

●家庭・学校・地域の「しあわせ」をめざします

そのために海老名市として

子どもと大人が  
ともに成長する社会

子どもたちの  
今と将来の  
しあわせのための  
教育

家庭・学校  
地域のための  
よりよい環境づくり

に取り組みます

#### 教育施策の3つの柱

子どもと大人がともに学ぶ  
生涯学習の充実

子ども・学校支援事業の実践  
図書館・文化財の積極的な活用  
学校を拠点とした生涯学習社会と  
地域コミュニティの再構築

「えびなっ子」しあわせ  
プランの推進

「学力」「集団力」「健康安全力」を  
身につける教育実践  
小中の9年間を見通した教育  
システムの実施  
海老名型コミュニティスクール  
「おらが学校」の展開

安全安心な環境と  
新たな学校施設への取組

安全安心な子育て環境の整備  
義務教育に係る公費負担の  
あり方の検討  
地域住民が集う学校施設の  
あり方の検討

家庭・学校・地域・行政の力を結集して

## 海老名市教育大綱

### ○評価方法

評価点	基準
5点	計画以上の成果が得られた。
4点	計画どおりの成果が得られた。
3点	計画どおりの成果が得られなかったが、一定の成果が得られた。
2点	計画どおりの成果が得られなかった。
0点	計画したが、実施しなかった。

# 1. 「えびなっ子」しあわせプランの推進

## ○「学力」「集団力」「健康安全力」を身につける教育実践

### (1)実績・成果

- 1 学力向上のための授業改善
- 2 集団力の育成
- 3 健康安全力の育成



人間関係づくり学習計画  
リーフレット

子どもたちの生きる力を  
育むために  
みんなで味わい、  
理解し合う力を高める活動の  
ヒントとして

学級経営で  
お困りではないですか？



平成28年度  
海老名市教育委員会  
人間関係づくり学習計画作成委員会

# 1. 「えびなっ子」しあわせプランの推進

## ○「小中の9年間を見通した教育システムの実施

### (1)実績・成果

- 1 有馬中学校区による研究
- 2 市内全中学校区における  
小中一貫教育の導入



## 1. 「えびなっ子」しあわせプランの推進

### ○海老名型コミュニティスクール「おらが学校」の展開

#### (1)実績・成果

- 1 モデル校による実践研究
- 2 リーフレットによる周知
- 3 平成30年度 全19校で導入



## 海老名市教育大綱の評価

事務事業	担当部課評価	総合教育会議評価	備考
<b>1. 「えびなっ子」しあわせプランの推進【学校】</b>			
学力・集団力・健康安全力を身につける教育実践	4		
小中の9年間を見通した教育システムの実施	4		
海老名型コミュニティスクール「おらが学校」の展開	4		

## 2. 子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

### ○子ども・学校支援事業の実践

#### (1)実績・成果

#### 学校応援団による学校支援事業

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
えびなっ子スクール参加者数	10,379	10,161	10,236
あそびっ子クラブ参加者数	68,866	72,489	67,929

- 学校生活では経験できない活動を子どもたちは体験できました。
- 参加した大人たちは子どもたちの笑顔に触れ、元気をもらえました。

#### 児童・生徒の学習機会の充実

- 学習支援ボランティアが授業の補助に入り、子どもたちをサポートしました。
- まなびっ子クラブでは学習する場所を提供しました。

## 2. 子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

### ○図書館・文化財の積極的な活用

#### (1)実績・成果

指定管理者による管理運営がスタート、中央図書館リニューアルとともに新たなサービスを導入

- 中央図書館
  - ・開館時間の拡大 > 365日開館、9時～21時
  - ・キッズライブラリーの設置 > 4階子ども専用フロア
  - ・ICタグ導入 > 自動貸出・返却を可能に
  - ・宅配サービス開始
- 有馬図書館
  - ・学校図書館支援 > 小中学校図書館へ司書を派遣
  - ・開館時間の拡大 > 9時～19時
- 民間事業者による様々な自主事業サービスを展開

中央図書館	平成25年度	平成28年度	平成29年度
貸出者数	140,291	240,777	241,214
貸出冊数	468,721	657,640	670,285

来館者数  
約72万人

## 2. 子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

### ○学校を拠点とした生涯学習社会と地域コミュニティの再構築

#### (1)実績・成果

##### 家庭教育の充実

	H27	H28	H29
開催回数	56	55	52
参加者数	2,210	1,933	1,938

##### 市民講座の開催

	H27	H28	H29
開催回数	23	31	22
参加者数	1024	1121	908

○家庭教育学級では、大人同士が学び合い、関わり合いが生まれました。



子育てへの活力と参加者同士の横のつながり

○市民講座では、幅広い年代の方々へ学習機会を提供しました。



学ぶ楽しさを感じ、生涯学習につながっていく

## 海老名市教育大綱の評価

事務事業	担当部課評価	総合教育会議評価	備考
<b>2. 子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実【家庭・地域】</b>			
子ども・学校支援事業の実践	4		
図書館・文化財の積極的な活用	4		
学校を拠点とした生涯学習社会と地域コミュニティの再構築	4		

### 3. 安全安心な環境と新たな学校施設への取組

#### ○安全安心な子育て環境の整備

##### (1)実績・成果

通学路に防犯カメラを設置し、登下校の安全を図ります。



○防犯カメラは、市内各小中学校から通学路上の危険箇所を聞き取り、専門家の意見も取り入れたうえで、市内通学路38カ所に設置しました。

○平成30年9月に、小学校通学路における防犯面からの危険箇所について、学校で抽出し報告された危険箇所をもとに、市教委ほか関係機関において緊急点検を実施しました。

○点検実施後に関係機関と協議の上、対策の必要な箇所の抽出を行い、対策が必要な箇所については、関係機関と連携し、防犯カメラの設置を含めた対策案について検討していきます。



### 3. 安全安心な環境と新たな学校施設への取組

#### ○安全安心な子育て環境の整備

##### (1)実績・成果

・ 安心できれいな居心地のよい学校づくりを進めるため、屋内運動場のトイレを改修しました。

○湿式床から乾式床へ、和式便器から洋式便器へ、温水洗浄便座設置など平成28年度までに全小中学校で実施しました。



### 3. 安全安心な環境と新たな学校施設への取組

#### ○安全安心な子育て環境の整備

##### (1)実績・成果

・食の創造館の指定管理制度導入により食の安全を図ります。

平成27年8月1日から食の創造館に指定管理者制度を導入しました。現在、市内小中学校13校中12校、計7,300食の給食を安全に提供しています。

給食食材については、海老名産食材を使用する等、食の安全確保と地産地消の推進を図りました。

また、食の創造館は会議室や調理室の貸し出しも行い、広く市民に食の創造館の周知に努めました。



### 3. 安全安心な環境と新たな学校施設への取組

#### ○義務教育に係る公費負担のあり方の検討

##### (1)実績・成果

###### ①保護者負担の軽減

○市内小学校1年生の児童及び中学校1年生の生徒を対象(私学も含む)に教材費支援を行い、新入学時の保護者の負担軽減を図りました。

○平成29年度には、「保護者負担経費検討委員会」を設置し、検討・協議の結果、保護者負担経費の在り方についての方針を定めました。

○海老名中学校において、先行的に選定コンペを行い、現行のジャージよりも2割安く、質の良いものを選定することができ、保護者負担の軽減につながりました。

※選定品



###### ②学校徴収について

○学校給食費について、児童手当からの充当制度、生活保護費からの代理納付、コンビニ収納等を導入し、給食費納入の利便性向上を図りました。

### 3. 安全安心な環境と新たな学校施設への取組

#### ○地域住民が集う学校施設のあり方の検討

##### (1)実績・成果

○平成30年9月に「海老名市学校施設再整備計画」を策定しました。

学校施設の老朽化状況、財政見通し、児童生徒数の将来推計等を踏まえた議論を重ね、今後の学校施設整備方針を示したものです。

整備方針には、学校が開かれた場となり、地域の乳幼児から高齢者まですべての世代が集い学ぶことができる場を目指す等、「持続可能」な「夢」のある計画としてまとめられました。

検討の際参考とした事例  
(出典:「新たな学校施設づくりのアイデア集」  
文部科学省 平成22年1月)



### 海老名市教育大綱の評価

事務事業	担当部課評価	総合教育会議評価	備考
<b>3. 安全安心な環境と新たな学校施設への取組【行政】</b>			
安全安心な子育て環境の整備	4		
義務教育に係る公費負担のあり方の検討	5		
地域住民が集う学校施設のあり方の検討	4		

## 海老名市教育大綱の評価

事務事業	担当部課評価	総合教育会議評価	備考
1. 「えびなっ子」しあわせプランの推進【学校】	4		
	4		
	4		
2. 子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実【家庭・地域】	4		
	4		
	4		
3. 安全・安心な環境と新たな学校施設への取組	4		
	5		
	4		

# 海老名市部活動方針の 実施状況について

## 海老名市部活動方針

平成30年1月に策定

### 《 内容 》

- ① 海老名市部活動のねらい
- ② 活動日数と活動時間について
- ③ 外部指導者について
- ④ 医療との連携について

# 海老名市部活動方針

## 海老名市部活動のねらい

- 自分の目標や課題に向かって粘り強く努力し、それを克服して達成感や成就感を味わう中で、自主的に自分自身を高めよりよくしようとする力を育てる。
- 同じ目標に向かって、仲間とともにお互いに競い、励まし、支え合って活動する中で、つながりを広げ、絆を深めることの喜びを味わい、多くの人と進んでかかわり自分を発揮する力を育てる。
- 生涯にわたって、心と体の健康に関心を持ち、主体的にさまざまな活動に取り組み、自分や自分たちの生活をより楽しく豊かなものにしようとする力を育てる。

# 海老名市部活動方針

## 海老名市部活動のねらい【キーワード】

- 努力、達成感  
自分自身を高めようとする力
- 仲間、絆  
自分を発揮する力
- 生涯の健康  
生活を豊かにする力



# 海老名市部活動方針

## 活動日数と活動時間について

### 【規定として】

- 週1日の休養日を設定する。
- 始業前の朝の活動は、週4日以内とする。
- 夏季休業中は、3日以上連続休養日を設定する。

### 【配慮事項として】

- 土日の活動については、両日活動する場合でも、どちらかは半日以上休養時間を設定する。
- 長期休業中の活動については、終日活動の連続は2日までとする。

# 海老名市部活動方針

## 活動日数と活動時間について

### 【規定として】

- 週1日の休養日
- 朝練は週4日以内
- 夏休みの3日以上連続休養日



### 【配慮事項として】

- 土日の半日以上休養時間
- 長期休業中の終日活動連続は2日まで

# 海老名市部活動方針

## 外部指導者について



### 「部活動指導員」の導入

《役割》・顧問に代わって「活動計画」をたてたり  
「校外活動の引率」を行ったりすることが  
できる。

《任用》・市教委が任用し、学校からの申請で派遣  
・市教委、学校が主催する研修を受講

※これまでの外部指導者は、  
名称を「部活動支援員」として派遣を継続

# 海老名市部活動方針

## 医療との連携について



### 「整形外科医師」の学校訪問

《内容》・中学校ごとに年1回の訪問  
・「身体の仕組み」「ケガの防止と対応」の講演

### 「スポーツトレーナー」の学校派遣

《内容》・中学生の身体の特徴にあわせた効果的な  
トレーニング方法の指導  
・ケガを防止するための方法の指導

## 今年度の実施状況

### 活動日数と活動時間について



### 規定・配慮事項の実施状況

	5月	6月	7月	8月	9月
規定	95%	97%	98%	100%	98%
配慮事項	95%	98%	100%	100%	100%

⇒守られていなかった場合は、市教委より学校長をとおして指導

## 今年度の実施状況

### 外部指導者について



### 部活動指導員 **11名**

…バレーボール、バスケットボール  
吹奏楽、サッカー、ソフトテニス、剣道

### 部活動支援員 **41名**

…各校6～10名、全31部活動へ派遣

# 今年度の実施状況

## 医療との連携について

### 「整形外科医師」の学校訪問

- …2学期に全中学校が1回実施  
1・2年生の運動部全員と文化部希望者が参加

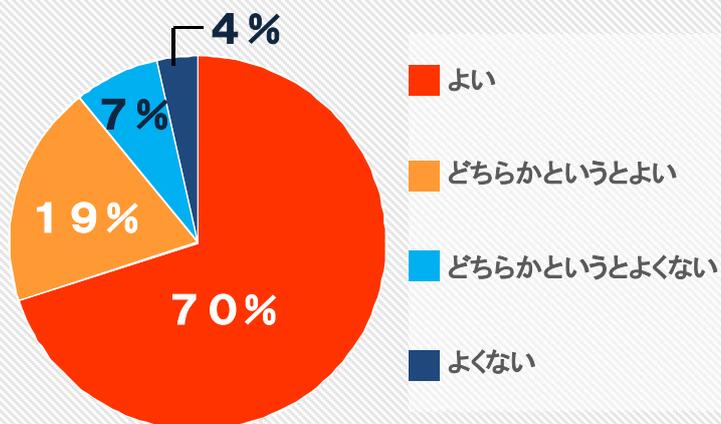


### 「スポーツトレーナー」の学校派遣

- …3学期に全中学校が1回実施  
各部の代表が参加し、全部員に伝達

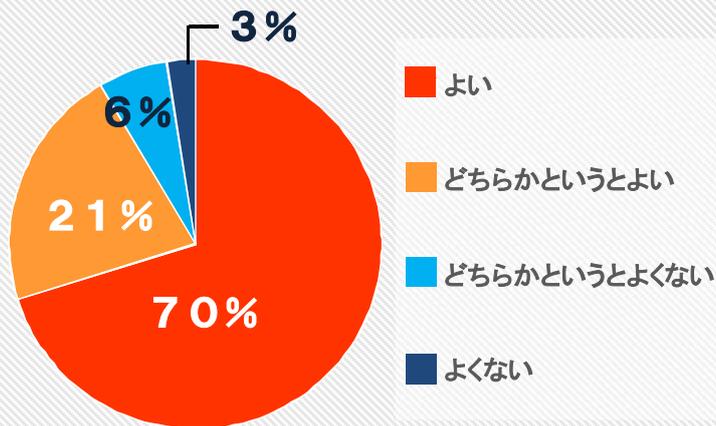
## 生徒たちの声(10月調査)

### 週1日の休みをどう思うか



## 生徒たちの声(10月調査)

### 土日半日の休みをどう思うか



## 生徒たちの声(10月調査)

### 「よい」の理由

- 疲れがとれる
- 勉強や宿題ができる
- 友だちや家族と過ごせる



### 「よくない」の理由

- うまくなれない
- 楽しいのでもっとやりたい

## 部活動方針の推進において

### **「海老名市部活動推進協議会」を設置**

#### 《メンバー》

整形外科医師、校長代表、顧問代表、保護者代表

#### 《協議内容》

- 部活動方針の実施状況確認と推進、検討
- よりよい部活動の在り方について

### **「部活動専門指導員」を市教委に配置**

- 部活動方針の実施状況確認
- 部活動の巡回
- 外部指導者の研修や面談



海老名の子どもたちの  
よりよい学校生活と将来のために

# 保護者負担経費の あり方 について

平成29年度

海老名市保護者負担経費検討委員会

を設置

目的

海老名市立小中学校における  
保護者負担経費のあり方につ  
いて検討・協議し、海老名市  
の方針を定める。

## 構成

小・中学校保護者代表 4 名  
小学校単位PTA会長会代表 1 名  
小学校長会代表 1 名  
中学校長会代表 1 名  
小学校教頭会代表 1 名  
中学校総括教諭代表 1 名  
教育部長・次長・就学支援課長  
計 13 名

検討委員会では、8回にわたって協議を行い、保護者負担経費の在り方についての方針を定めました。

この方針は、平成30年9月の教育委員会で、決定されました。

## 1 制服について

- 各校の仕様書を作成し、業者に広く周知することによって、取扱店・販売店の拡大を図る。
- 市ホームページに各校の制服・ジャージ服の販売店、価格などを公開することで、入学以前から保護者が情報を入手できるようにする。
- 仕様などを変更する場合は、生地について、汎用性があり流通している生地を使用する。
- 制服のリユースの方法について検討する。

## 2 ジャージ服(上下)について

- 各校で選定委員会を組織し、仕様書を作成したうえでコンペを行う。
- 決定業者との契約期間は3年～6年を目安とする。
- カラー分けについては、各校で必要性の議論を行う。
- ハーフパンツについても、ジャージ服(下)との関連でコンペを行う。

### 3 上履き(兼体育館履き)について

- 各校で選定委員会を組織し、仕様書を作成したうえでコンペ等を行う。
- 決定事業者との契約期間は3年～6年を目安とする。

### 4 運動用Tシャツ・短パン・ワイシャツ・ポロシャツについて

- 仕様を定めた上での自由化が望ましい。
- 全ての学校が平成31年度からの実施が望ましい。
- 学校で指定していないものについても、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば販売店以外でも自由  
に買えることを周知する必要がある。

## 5 修学旅行について

- 決定した内容は、保護者に実施の趣旨を正しく理解してもらえるよう、充分周知して、説明責任を果たしていく。
- 保護者や児童・生徒の意見を聞くことを検討する。
- 複数の旅行会社によるプレゼンテーションなどを実施する際には、上限金額は伝えないことを検討する。
- 様々な課題があるため、今後の方向性については別途検討会を立ち上げて検討することも考える。

## 6 教材について

- 学校で指定していないものについても、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば、販売店以外でも自由にも買えることを周知する必要がある。

## 7 卒業アルバムについて

- 選定委員会で検討のうえ、学校ごとのコンペ等の実施を検討する。

## 8 学校からの保護者説明について

- 入学時に、小学校は6年間、中学校は3年間で必要な経費及びスケジュールについて、年度当初の4月には、各学年の1年間のスケジュールについて、学校から保護者へ説明する。

## 9 公的支援について

- 毎年活用するもので使用頻度の低い教材等については、無償貸与することを検討する。

## 10 その他

- ジャージ服、上履き、教材等について、先行的な取り組みを参考にし、学校が日常で使用している様々なものについて、コンペ等で決めていくことを検討する。

併せて、条件を設定のうえ、市販品も可とするなど、一定の自由度を持たせる方法も検討する。

- ジャージ服(上下)等の選定にあたっては、必要に応じて選定委員会を開催し、選定委員会の委員に第三者を入れて選定する。

## 10 その他

- コンペ等、取り組みの実施後は、各校及び教育委員会において効果検証を実施し、軽減効果が図られない場合は他の方策を検討する。
- 各校が自主的、継続的に見直しを講じられるよう、教育委員会として、全校の状況が分かる資料を作成して公開したり、他市の動向に関する情報を提供したりする。
- 教育委員会は、選定にあたって公平性・透明性の確保に努める。

- 本提言の内容は、今後の状況により適宜見直していく必要がある。
- 状況を注視し、様々な意見を取り入れながら、適正な時期に見直しを行い、より良い取組みとなるよう期待する。



ご清聴、ありがとう  
ございました



## 杉久保小学校からの提案一覧

---

- 1 家庭科室をもっと使いやすく！
- 2 学校をきれいにしたい！
- 3 こどもの森をもっと楽しく！  
校内にも木のぬくもりを
- 4 すぎまるくんを地域に広めたい！